

教会における男性と女性の立場、役割、奉仕についての声明

私たちは、アルゴイ (Allgäu) 地方とドイツのほかの地域に住む、イエスに従おうとしている男性たちです。私たちは神の前で、神のことばによって、聖書における女性の役割についての自分たちの態度と見解が誤っていたことを悟りました。この悟りをこの声明にまとめ、公に表明いたします。すでに多くの信仰を持つ男性たちが、男女の平等についてのこの見方に立っています。私たちの確信によれば、この見方のほうが神の思いによりよく合致しています。しかし、聖書が（私たちにとってと同じように）揺るがない神の基準である多くのキリスト者が、今なお、男性と女性は同等ではなく、聖書の教えに基づけば同等ではありえない、という見解を持っています。私たちはその方々に呼びかけます。この点について聖書をもう一度学び、神のご計画と創造の秩序（墮落の前の秩序、そしてキリストにある救いにおける秩序）を見いだしていただきたいのです。私たちはもはやこのことについて黙っていることはできません。その結果と影響は教会にとって損失であり、当事者である女性たちの中に、ときに大きな傷と深い不安を引き起こしているからです。私たち自身も、この誤った見方を何十年にもわたって擁護し、教え、生きてきました。ですから、男性と女性の立場と役割をどのように見るかは、きわめて重要で大きな意味を持つことなのです。

私たちはだれかを挑発しようとは思っていません。たとえこのテーマにおいては、まったくその意図がなくても、それを避けることはほとんどできないとしてもです。同様に私たちは、この問いが救いを左右する問題ではないことも承知しています。しかし、教会生活は日々このことの影響を受けているのです。

私たちはすべての男性の方々に、今あるいは後からでも、この表明に加わり、ご自分の名前を公表することによってそれを表明して下さるよう呼びかけます。

私たちが悟ったことは何か、私たちは今日このことをどのように見ているのか。

私たちは、聖書が男性と女性の平等と、一方的ではなく互いに従うことを教えていると信じます。神が望まれた性の違いからは、互いに補い合うことが生じます。階層なしに、そして教会における奉仕と指導のあらゆる領域に、女性と男性が完全に参与するのです。

「神は男性と女性をご自分のかたちに創造されました。神は両者を立てて、この世界を治めさせられました。神はこの使命を人間から取り上げられたことは一度もありません。女性たちからも取り上げられませんでした。旧約聖書の中で、私たちは、神が繰り返し女性たちを召し、任命されるのを見ます。神は彼女たちを祝福し、女王（エステル）、女預言者（たとえばフルダ、ミリアム、デボラ）、士師（デボラ、士師4:4）として権威をお与えになりました。新約聖書の中で、私たちは、イエスが女性たちを教え（ルカ10:39）、いやし（マタイ9:20-22）、解放し（ルカ8:2）、女性たちを尊重して任命されるのを見ます。復活の後、イエスは彼女たちを宣べ伝えるために遣わされました（マタイ28:10, 18-20）。最初の教会では、聖霊が男性たちにも女性たちにも同じように下ったのを見ます（使徒2:4, 17-21）。この御霊は、教会のために両者に等しく霊の賜物をお与

えになりました（コリント第一12章）。そのため両者が教会の中で積極的に関わり、指導的な職務に就き（ローマ16章）、男性たちと同じように迫害を受けたのです。教会史において目を引くのは、まさに霊的な刷新とリバイバルの時代に、多くの女性たちが関わってきたし、今も関わっているということです。それゆえ署名者たちは、女性が男性と同じように、イエス・キリストの宣教命令を遂行し、教会で指導的な務めを担うために召され、賜物を与えられているという見解に立ちます。そこには説教することや教えることも含まれます。神のみこころを実現するために、男性と女性とともに、階層の違いや権力争いなしに、互いに従い合い、尊敬と愛をもって、この世界に神の国を広げていかなければなりません。それはともに行うときにだけ、うまくいくのです。」¹

あらためてまとめると、私たちは次の確信のために立ちます。

- 男性と女性は、最初の創造においても新しい創造においても、等しく神のかたちに造られています（コロサイ3:10; コリント第二3:18）。
- 男性と女性は、等しく創造の使命と、そのための神の祝福を受けています（創世1:26-30）。
- 贖われた者たち——男性も女性も——は「キリストにあって」平等です。彼らは同じ救いの立場を共有しています（ローマ10:12-13; ガラテヤ3:28; コリント第一11:11）。
- 教会の指導の本質は階層に基づくものではなく、仕える指導に基づくものであり、それは男性にも女性にも同じように当てはまります（コリント第一1-2章; 9:19; 16:16; マタイ20:25-28; ルカ22:25-27）。
- 教会における互いに従うことは、女性と男性が同等であることを前提としています（エペソ5:18-21; ガラテヤ5:13; ローマ12:10; エペソ4:2）。
- 結婚における互いに従うことは、男性と女性の平等を前提としています（エペソ5:21-22; コロサイ3:18-19; テトス2:4）。
- キリストのからだの一致は、男性と女性が同等であることを前提としています（コリント第一12:25）。
- 全信徒祭司性は、男性と女性の平等を前提としています（コリント第二3:12-18; コロサイ3:16; コリント第一14:26; ペテロ第一2:9; ヘブル10:19-22）。
- 御霊の賜物は、教会における男性と女性の平等を明らかに示しています（コリント第一12-14章; ローマ12:6-8）。
- キリストにある自由は、男性と女性の平等を前提としています（ガラテヤ3:28; 5:1; テサロニケ第一2:7）。
- キリストにあってすでに始まっている新しい創造は、男性と女性の平等を前提とし、両性が互いに補い合うことを確証しています（コリント第一7章; テモテ第一4:3; エペソ2:11-22）。

私たちの罪の告白と赦しの願い

この告白の署名者一人ひとりに、すべてが必ずしも当てはまるわけではありません。しかし、私たちの良心が示したことを、私たちはまとめました。そのどれ一つとして、口にされないままで

あってはならないからです。私たちは、聖書が私たちに語っていることにふさわしく振る舞ってきませんでした。聖書こそが、そして聖書だけが、私たちを拘束する基準です。この世とその時代精神が私たちの動機や手本なのではありません。それゆえ私たちは、率直で容赦のない罪の告白へと召されていると考えています。これらのことばが、キリストにある姉妹たちの耳と心に届くことを願っています。同時に、私たちの悔い改めは私たちの創造者に向けられています。

ヤハウェ・エロヒム、男と女の創造者よ、私たちが、女性たちは同等ではなく下位に置かれた存在であるかのように考え、要求し、行動してきたことをお赦してください。あたかも女性たちが対等な立場で向かい合う存在ではなく、私たちより一段下にいる存在であるかのように。

私たちが、女性たちがその賜物を十分に、また自由に発揮するのを妨げてきたことをお赦してください。私たちが女性たちの自由を制限し、彼女たちの賜物を無視し、彼女たちの声を沈黙させてきたことを、申し訳なく思います。

主イエスよ、私たちが、女性は集会、すなわち礼拝では黙っていなければならず、教えたり指導したりしてはならないと考えてきたことをお赦してください。

私たちは、私たちの妻たちに、主にある姉妹たちに、神の国のために働くすべての女性の同労者たちに告白します。私たちはあなたがたを、階層的に男性の権威の下にある者と見なしてきました！ 私たちが神から出た聖書的なものだと思っていたこの誤った態度を、どうか赦してください！ 私たちは本気で、神に仕え、神のことばに従っていると思っていました。今振り返って、そのことを恥ずかしく思います。

私たちが教会の大切な問題を、あなたがた抜きで話し合い、決めてきたことを赦してください。それらの決定はあなたがたにも同じように関わることだったのに、私たちはあなたがたの助言を求めませんでした！ 私たちは、あたかもあなたがたを必要としていないかのように、さらに悪いことに、あたかもあなたがたがそこにいないかのように振る舞ってきました。

あなたがたのこと、そしてあなたがたがイエスのためにしてきたこと、しようとしたことを、私たちがいつも階層的な見方から判断し、あら探しをし、過小評価し、ときには非難さえしてきたことを赦してください。

私たち男性は失敗しました。私たちはしばしば、自分でも気づかないうちに、自己中心的で、支配的で、差別的なマッチョであり、知ったかぶりをする者でした。自分自身に対して盲目であり、あなたがた女性と、あなたがたの召命と賜物に対して盲目でした。そしてそれゆえに、人生のこの問題において、私たちの創造者である神に対しても盲目だったのです。

私たちがあなたがたを利用してきたところでは、赦してください。本来なら私たちが男として責任を果たし、先頭に立つべきところで、そしてあなたがたが当然それを期待できたところで、私たちがあなたがたを前に押し出し、あなたがたに頼ってきたところでは、赦してください。

私たちがあなたがたに割り当てた役割の中で、あなたがたにとって何がつらかったのか、何があなたがたを傷つけたのか、何をあなたがたはどうしても理解できなかったのか、それについて私たちが無関心であったことを赦してください。こうした差別的な態度や教えについてあなたがた

がどう感じているかを、私たちが尋ねなかったことを赦してください。私たちがあなたがたの側に立たなかったことを赦してください。

本当に申し訳ありません。私たちは間違っていました。

私たちは、女性たちを尊び、後押しし、大切にし、ほめたたえ、その声に耳を傾け、尊重するために、できるかぎりのことをすると誓います。私たちは断固として、女性たちを信仰と指導と人生における対等なパートナーとして招き、聖書的な同権を実践し、押し進めることを誓います。

立ち上がってください！ 自由になってください！ 喜びをもって主に仕えてください！

私たちはみな行動しなければなりません。そして……²

対話に踏み出す——私たちが引き起こした過ちと痛みを嘆き、そのことを悔い改め、考えを改め、和解を求めることによって、前向きな対話に踏み出します。これが、女性、少女、男性、少年たちに、キリストによるより大きな力が与えられていくための第一歩であると確信しています。

たたえる。私たちは、世界中のイエスの教会における女性たちの力と勇気、賜物と奉仕をたたえます。

ささげる。キリストの模範と、キリストの仕える指導に倣って、地域の、また世界のイエスの教会がその成長と成熟において強められるよう、私たちの賜物と可能性を神にささげます。

誓う——女性と男性がともに働くことを誓います。

整える。女性と少女たちが、イエスの教会において、また社会のあらゆる領域において指導的な役割を担えるよう、彼女たちを整えます。そこには、教育、能力開発、そして革新的な資源を最大限に活用することが含まれます。

2021年5月20日

この声明を支持したいと思われる方は、それがここで主張されている見方——以前からずっと持っておられた見方——への賛同にすぎないとしても、お名前を添えて hj-ronsdorf@t-online.de まで私にメールをお送りください。この声明はホームページ www.frauen-vergebt-uns.de で公開され、更新されます。

Hans-Jörg Ronsdorf

Ingo Damith

Tobi Stricker

Wolfgang Klöckner

Jochen Gerbershagen

Fridtjof Wandt

Emil Wagner

Klaus Sydow

Christian Beese

Rolf Stücher

Bernd Hüsken

Bernd Bessler

Christof Lenzen

Daniel Blatt

注

1. この文章はエルケ・ヴェルナー（Elke Werner）によるもので、ここでは本人の厚意ある許可を得て引用しています。 <https://www.wings-online.de/>
2. 2019年6月にアムステルダムで出された「Aufruf an alle Christen」（すべてのキリスト者への呼びかけ）から引用しました。